

国際交流員マシアスのコラム

●どっちを選ぶ？ 決断の自由とその重さ



『ヴェア デイー ヴァール ハット、ハット デイーク ヴァール』

これは、「何かを決断することは悩みを伴う」という意味のドイツの古いことわざです。私たちは、普段の生活でも、悩みつつ小さな決断をしています。たとえば、7時半の電車に乗るか、それとももう少しと寝て7時45分の電車に乗るか。コーヒーにミルクを入れるか、砂糖を入れるのか……。

こういった小さな決断に加えて、私たちは時に大きな決断を迫られることもあります。自分の進学先や就職先をどうするべきか、自分の子どもの進路をどうするべきか。誰もが悩む問題だと思います。

けれど、幸いなことに、私たちが自分の人生に関わるような決断をしても、国全体に影響するようなことはほとんどないと思います。ところが、個人の決断が国全体にも関わってくる国があります。たとえば、スイスでは直接民主制が深く根付いているのをご存知ですか？ 議会制度もありますが、年に4回国民投票が行われます。スイス国民は法案や政策について「はい」か「いいえ」で決断します。その際には、法案の説明と賛否の

ポイントを中立的な立場でまとめた文書が届けられます。有権者が賛否両方の立場についての情報を得られるので、誰にとっても公正な判断につながります。そのため、投票の結果は国民にとって透明性の高いものになります。

このように、国民の意思が反映されやすいスイスの直接民主制ですが、同時に決断するという重い責任が国民にのしかかります。

私は、日本は国民があまり重要な決断をする必要がない国だと思います。最終的な決断は、議会がするからです。それに、国全体に影響するような重い責任を背負い、悩み続けていたら、普段の仕事などの日常生活に身が入らなくなってしまうからですね。

国の重要なことを決断せずに生きられるのは楽なことです。けれど、それは決まったことに対しては不満があっても、我慢するよりはかはないということの裏返しでもあるのです。

決断を誰かに任せるとは否か、それを決めるのも私たち自身です。これもまた、悩みを伴う決断なのかもしれませんね。

国際交流員マシアスさんによるママババEnglishサロン開催!

市国際交流協会では、子ども連れの方でも気軽に参加いただける英会話サロンを毎月開催しています。



サロンの様子

国際交流員のマシアスさんと一緒に、遊びながら気軽に英会話を楽しんでみませんか？ もちろん、大人の方のみの参加もOKです。子ども好きの方や外国人の方も大歓迎です!

■日時

- ① 9月21日(木) 午前10時～11時
- ② 9月28日(木) 午前10時～11時

■場所

薬師寺コミュニティセンター

■講師

国際交流員 マシアス・ブリッタスドーフ

■参加費

無料
ただし参加者は国際交流協会に入会していただきます(年会費1,000円)。

■定員

①、②それぞれ10名

■申し込み・問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(市民協働推進課内)
☎(32)88887

ドイツのミュンヘン大学生との交流会「くぐり細工作り体験」

8月にミュンヘン大学生7名が日本語学習と日本文化体験のために来日し、下野市に2週間ホームステイします。

その期間中に、ミュンヘン大学生と市民の方が、伝統工芸「くぐり細工」を一緒に作る交流会を開催します。

下野市の特産品であるかんぴょうを使ったくぐり細工を作りながら、楽しい時間を過ごしてみませんか？

■日時

8月24日(木) 午後2時～4時

■場所

市民農園 クラブハウス

■参加費

500円(1人1作品)

■定員

10名

■持ち物

絵筆(大小1本ずつ)

■申込期間

8月7日(月)～10日(木)

■申し込み・問い合わせ先

下野市国際交流協会事務局
(市民協働推進課内)
☎(32)88887



前回開催時の様子

■人口と世帯(7月1日現在)
人口/60,279人(+13)、男性/29,917人(+9)、女性/30,362人(+4)、世帯数/23,580世帯(+50)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課☎0285(32)8886情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ市ホームページ

